


クラス	110	担当教員	よしだ なおみ 吉田 直美
			人との関わりを通してニーズに気づき、理解し、そして動こう
	著書・論文		『必携 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目編 2014』（共著） 「災害時要援護者と福祉避難所の一考察」日本福祉大学経済論集第 47・48 合併号 2014 年 3 月
	研究課題等		近年の関心事：対人援助、コミュニケーションのあり方、 介護職の人材育成、防災問題、電話相談

## ゼミナール概要

**キーワード：** コミュニケーション 気づき 共生 地域

- ◆2年次、3年次を通しての目的  
「他者との関わり」を通じて、他者と、そして地域と「共生」することに向き合うことで、自分の果たすべき役割に気づき、自分なりの新しい生活環境をつくっていけるようにすること。
  - ◆2年次、3年次を通しての目標
    1. 「聴く」「話す」「読む」「書く」といった、基本的なコミュニケーション能力を身につける。
    2. 他者と関わり、地域と関わることで、「現場」でのコミュニケーション能力を磨く。
    3. 地域や社会の仕組みを学ぶ中で、自分の関心事を明確にし、自分なりに考えた行動ができるようにする。
  - ◆授業内容・方法  
現在考えているのが
    1. 原則として毎回交代制で1分間スピーチorレクチャー、フィードバックのトレーニングをする。
    2. 基礎知識を身につけるため、指定文献・資料を輪読する。(レジメ作成)
    3. 東海キャンパスの周辺地域の探索、地域への理解を深めるために、具体的なテーマを決めての取材&記事を作成する。
    4. 地域を中心とした施設見学、イベント参加、ボランティア体験など、キャンパスから出て「現場体験」をし、そこから何を学んだのかをゼミで共有、そして外にも発信する。
- その他：大学は、教えてもらったり、指示されたことを受け身で学ぶ場だけではない。自分の興味関心あるテーマを探し、それに能動的に働きかけながら、学んでいく場にしてほしい。そして、担当教員は、学生の学びについての側面的支援の役割を果たすものと認識している。

	担当教員からのメッセージ
現時点では未定	<p>当ゼミをエントリーしていただくにあたっての注意事項</p> <p>①キャンパスから出ての活動や、グループ作業がたまに入る。ゼミの時間しか参加・出席できない！という忙しい方、外に出ているんな人と関わりたくない人は、遠慮願いたい。</p> <p>②無断欠席や、自分の担当課題をスルーする人は遠慮願いたい。人として最低限のコミュニケーションとる努力ができないと、信頼関係が築けない。</p> <p>③他者を決して排斥せず、自分も他者も活かし、活かされる関わりを心がけられる人を大歓迎する。</p> <p>.....</p> <p>*エントリー希望者は、必ず事前に mail でアポイントをとり、「何を学びたいか」or「自分の関心事」を考えた上で、事前面談を受けること。</p>